

教育・保育

No	テーマ	講義内容紹介	関心ワード	教員名	職名
EC-1	「何をどのように学ぶか」	これからの授業では、何をどのように学ぶかが大切です。基礎的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用しながら、自ら課題を発見し、主体的・協働的に探究する学びの学習・指導方法について講義します	教育	金沢 緑	学部長 教授
EC-2	アクティブラーニングと評価	子どもたちに育成すべき資質・能力を確実に育む観点から、「アクティブラーニング」等のプロセスを通じて表れる子供たちの学習成果をどのように評価するかについて講義します。	教育	金沢 緑	学部長 教授
EC-3	考える子どもを育てる授業とは	児童がじっくり考えるあたらしい授業づくりは「自分の問題をもつ」指導が大切です。子どもが自ら課題を持つ授業のあり方について学びます。	教育	金沢 緑	学部長 教授
EC-4	「学び」の意義 ～人間はなぜ学ばなければならないのか～	私自身の「学び」の経験談にも触れながら、生物学的視点からのヒトおよび社会的存在としての人間の両側面の本質的特徴を踏まえつつ、ヒト・人間にとっての「学び」の意義について一緒に考え、高校生としての「学び」の在り方について振り返りを行う(そのための助言を行う)。	学び	秋川 陽一	教授
EC-5	子どもの「やる気」を知ろう！	人はもともと高い好奇心を持って生まれ、特に乳児はその好奇心で「世界」を探検し、多くのことを学習します。しかし、児童期になると、「好奇心」だけでは動けません。「自分には世界を探検する力があるのだ」という信念が必要になります。本授業では、乳幼児期や児童期の「やる気」について、「信念」の観点を踏まえて解説します。	教育	大山 摩希子	教授
EC-6	学校生活に生かせる心理学	「心理学」は、学校生活の中のさまざまな場面で生かすことができます。この講義では、一人でいるときと学校で友だちといるときで行動がどう違うかなど、くらしの中でもよく目にするような現象をもとに、心理学の生かし方を一緒に考えていきます。	教育	大和田 智文	准教授
EC-7	「障害」は環境の中で生まれる「生きづらさ」	障害とは何だと思えますか。「障害」は周りの環境との総合作用の中で生まれるのです。障害のある方への支援を考える3つのワークを通して、これまでの抱いていた「障害」とは違う新しい「障害」と出会ってください。	教育	米倉 裕希子	准教授

教育・保育

EC-8	教育全般	人を支援するということ	最近「援助する」という表現よりも「支援する」という言葉を耳にすることが増えました。学校教育においても「特別支援教育」がスタートしてほぼ10年になりますが、学校の教師にとって、「子どもを支援する」ということの意味について考えます。	教育	市橋 真奈美	講師
EC-9		「小学校の先生」ってどんな職業？	「小学校の先生」とはどんな仕事なのでしょう。小学校時代に見ていた先生とはどんな職業なのでしょう。職業人としての「小学校の先生」について、卒業した小学校の先生方の姿を思い浮かべながら、考えてみてください。	教育	新川 靖	助教
EC-10	学校教育	学校の周りの自然を生かしたカリキュラム	教科を軸とした総合的な学習の時間のカリキュラムの創り方を、具体例をしながら講義します。	教科教育(総合)	金沢 緑	学部長教授
EC-11		子どもの意欲を引き出す導入実験	小学校3～6年の理科実験の工夫の実際や、教材作りを体験しながら学んでいただきます。	教科教育(理科)	金沢 緑	学部長教授
EC-12		子どもの心に語りかける小学校教員になろう —大学で学ぶ図画工作の教え方—	子どもは感動を「貯金」できます。そして、子どもは「分かるようになった」学びを「知恵に転換」できます。楽しく活動し学びながら、同時に自分の成長・発達を作っていけるような「教育の着想・発想法」の成果を、図画工作などを事例に紹介します。テーマは、「子どもの心に語りかける小学校教員になろう」。	教科教育(図画工作)	鈴木 幹雄	教授
EC-13		播磨・備前の地形を生かした社会科や地理の教材づくり	播磨灘(姫路から瀬戸内市にかけて)の島々には、縄文時代から現代に至るまで、海面の変化を示す離水海蝕洞が多く存在します。それらを利用した教材づくりを紹介しながら、学年に応じた教材づくりを一緒にに行います。	教科教育(社会)	小野間 正巳	准教授
EC-14		子どもから大人まで楽しめる総合的な学習の時間のアイデア	私たちの身の回りにある自然や社会を利用した総合的な学習の時間の活動のアイデア(川、海、伝統行事など)を紹介しながら、その土地ならではの活動を共に考えます。	教科教育(総合)	小野間 正巳	准教授
EC-15		心育てる教育ってなに？ ～道徳教育を考えよう～	「心育てる教育」である道徳教育。週一時間の授業を中心として学校のすべての活動で行われています。子ども達の心育てるのは先生の大切な役割。模擬授業を体験するなどして道徳教育の重要性や授業の面白さや大切さについて考える内容です。	教科教育(道徳)	新川 靖	助教

教育・保育

EC-16	幼児教育・保育	「保育」のプロを目指して	「子育て・子育て」の危機が叫ばれる今、保育者には、「プロ」としての高い専門性や倫理観をもつことが求められるようになってきている。その、今、求められる保育者の専門性や倫理の具体的な中身は何か、それを踏まえた上で、将来、保育者を目指す高校生が、今(高校時代)に身につけておくべきものとは何か、について考える。	保育士 学び 仕事	秋川 陽一	学部長
EC-17		児童福祉施設で働く保育士	保育士が活躍する場は保育所だけではなく。他にもいろいろな事情で親から離れて暮らす子どもたちがいる児童養護施設などでも多くの保育士さんが働いています。やりがいや仕事を少しのぞいてみましょう。	障害児保育	米倉 裕希子	准教授
EC-18		障害のある子どもの不思議な世界	障害のあるおさんは、不思議で、ときに困った行動をします。障害のある子どもには、この世界はどのように映っているのでしょうか。障害特性を理解するワークを通して体感してみましょう。	障害児保育	米倉 裕希子	准教授
EC-19		幼児が健康に育むために ～食事編～	幼児の食事は、保護者に依存しているといっても過言ではありません。毎日の食事内容や食事リズムなどを今一度見直すことで幼児の健康により良い影響を与えます。幼児に適した食事内容や食事リズムを栄養学の視点から考えます。	幼児教育	廣 陽子	講師
EC-20		先生も知っておきたい！毎日何をどれだけ食べればいいのか？	様々なダイエット法や健康食品、時間栄養学やサプリメントなど食べ方や摂取食品の情報で溢れている今日、基本的な食べ方を食事バランスガイドに沿って実際に食べたもので考えましょう。先生になるために毎日の食事を見直し、正しい食習慣を身につけましょう。	幼児教育	廣 陽子	講師
EC-21		やってみよう！ためしてみよう！子どもに大切な生活技術	便利グッズのおかげで、子どもにとっては手を使う機会が減少し、不器用な子どもが増えてきていると言われています。手が器用なことは、一生役に立ち、自分を助けてくれるでしょう。もう一度生活を見直してみましょう。	幼児教育	廣 陽子	講師

教育・保育

EC-22	幼児教育・保育	絵本で育つ思いやり ～思いやり育成プログラムによる予防教育～	絵本には、たくさんの教訓が隠されています。そこで、絵本を教材にソーシャルスキルトレーニングを通して思いやりの心を育てることで相手の立場を尊重した関わり方を学ぶ授業を行います。	教育学び	小野間 正巳	准教授
EC-23		子どもから大人まで楽しめる総合的な学習の時間のアイデア	私たちの身の回りにある自然や社会を利用した総合的な学習の時間の活動のアイデア(川, 海, 伝統行事など)を紹介しながら, その土地ならではの活動を共に考えます。	教育	小野間 正巳	准教授
EC-24	対人関係カウンセリング	心も体も生き生き！ 楽しいふれあいレクリエーション	レクリエーションの語源はラテン語の“recreare”で、「壊れたものがつくり直されること, 人が病気から回復すること, 疲労をいやして元気を取り戻す」という意味があります。現代では、コミュニケーションを図る手段としても注目されています。手軽にできる歌遊びやゲームなどを通して、互いに心を通わせ、楽しく仲間づくりを行いましょう。	人間関係	服部 伸一	教授
EC-25		グループワーク・トレーニング入門	お互いを知り、人との関わり方を学ぶ体験型の教育プログラムとして注目されている「グループワーク・トレーニング」。様々なワークを通して、人との関わり方に対する「気づき」が促されていきます。	人間関係	服部 伸一	教授